

項目	分類	制限詳細	事象
1	環境	他のAPIフック技術を使用する製品が先に起動される場合、PrintBarrier3が正常に動作しない場合があります。	PrintBarrier3が正常に動作しない、または他の製品が動作しなくなる場合があります。
2		PrintBarrier3を使用するにあたり、Shell32.DLLのバージョンは4.71以上が必要です。 上記バージョンより低い場合は、「レイアウト設定」ウィンドウの[プリンタ]ボタン、 [プリンタプロパティ]ボタンが無効となります。 [プリンタ]ボタン、[プリンタプロパティ]ボタンを使用したい場合は、Shell32.DLLを4.71以上にしてください。 なお、バージョンを上げるにはIE4のシェル統合を行う必要があります。 詳細は、Microsoft社のホームページをご覧ください。	「レイアウト設定」ウィンドウの[プリンタ]ボタン、 [プリンタプロパティ]ボタンが無効になります。
3		物理プリンタに対応したプリンタドライバが正しくインストール、設定されていない場合(ドライバ、ポートなど)、 PrintBarrier3が正常に動作しない場合があります。	物理の切り替え、ドライバ側で用紙フィット機能などを使用するとアプリケーションエラーになることがあります。
4		PrintBarrier3はPostScriptプリンタに対応していません。	背景文字が前面に印字されます。
5		WindowsXPにおいて「ユーザーの簡易切替」機能には対応していません。 別のユーザでご利用になる場合には、必ずログオフしてお使いください。	-
6		プリンタのプロパティの[詳細設定]タブの「すぐに印刷データをプリンタに送る」か「プリンタに直接印刷データを送る」が設定された場合、PrintBarrier以外のプリンタを選択し印刷すると、「PrintBarrier以外のプリンタからの印刷を禁止します。」メッセージを表示しますが、一部が印刷されることがあります。これを解決するには、「全ページ分のデータをスプールしてから、印刷データをプリンタに送る」に設定する必要があります。	「PrintBarrier以外のプリンタからの印刷を禁止します。」メッセージを表示しますが、一部が印刷されることがあります。
7		コンピュータの起動直後など使用可能物理メモリが少ない場合PrintBarrierを使用すると端末がハングアップする可能性があります。上記状態でのPrintBarrierのご使用を控えることをお勧めします。他のアプリケーションを終了するか、しばらく待ってから印刷してください。	OSの動作が不安定になる場合があります。
8		PrintBarrierで使用する物理プリンタに対しプリンタ管理権限を要します。	権限確認のメッセージを表示します。
9		PrintBarrierはWindowsの標準的な印刷機能を利用します。アプリケーションの独自のスプーラあるいは、独自の印刷フォーマットに対応していません。	「PrintBarrier以外のプリンタからの印刷を禁止します。」メッセージを表示することがあります。
10		古いバージョンの物理プリンタは、PrintBarrierの機能に影響する場合があります。新しいドライバの使用を推奨します。	アプリケーションエラーや背景が出ない場合があります。
11	印刷	MS Word、MS Excelなどで部単位印刷に対応していません。アプリケーションでは部数を指定せずにプレビューかドライバで部数を指定してください。	一部しか印刷されません。
12		アプリケーションが独自のスプーラを用いた印刷ではPrintBarrierが正常に動作しない場合があります。Windows標準スプーラを使用してください。	「PrintBarrier以外のプリンタで印刷できません」でのエラーメッセージが表示されません。
13		PrintBarrierと物理プリンタの解像度設定について物理プリンタの解像度はPrintBarrierの解像度以上に設定することをお勧めします。	細かい線が表示、印刷されない場合があります。
14		プレビューを表示せずに直接印刷で連続して印刷を行うと、あるいは、プレビューで印刷ボタンを押してプレビューが消えて間もない状態で再度印刷すると「印刷処理中です。暫くお待ちください。」メッセージを表示することがあります。時間間隔を設けて印刷を行ってください。MS Excelからのブック全体印刷時もこの現象に当てはまります。	「暫くお待ちください。」メッセージを表示します。
15		プリンタドライバ側でNup、両面の設定をした印刷時は、枚数が正常にカウントされません。	1枚の紙でも複数枚数出力のカウントになります。
16		すかしの印刷する時、プリンタによって同じ設定でもすかしの濃淡が異なる場合があります。チューニングする必要があります。	すかしの濃淡が異なります。
17		印刷スプールの形式はEMFを使用します。アプリケーションで強制的にRAW形式でスプールするものは正しく印刷できない場合や印刷に時間がかかる場合があります。EMF出力設定で利用してください。	印刷時間がかかる、印刷イメージが異常になる場合があります。
18		PrintBarrierを経由(特にヘッダーフッターを使用する場合)すると、拡大縮小など若干の誤差があり、出力結果が変わる場合があります。高画質の写真印刷やバーコード印刷など高い印刷精度を必要とするものは、動作確認の上ご使用ください。	-

項目	分類	制限詳細	事象
19	フォント	システムにないフォントが使用された場合、フォント環境などの違いによって空白または異なった文字となることがあります。MS明朝・MSゴシックなどのWindows標準フォントで文書を作成することをお勧めします。	空白または異なった文字になります。
20		AcrobatReader7.0以前のバージョンで作成されたPDFファイルをAcrobat Reader7.0以降で印刷すると文字化けする場合があります(フォント埋め込み機能を使用して端末にないフォントを印刷する場合等)。印刷ダイアログの詳細設定にある「画像として印刷」を選択したうえで印刷する必要があります。	文字化けします。
21	ログ	ジョブタイトルがアプリケーションによって設定されていない場合、取得できない場合があります。	ジョブタイトルは空になります。他のプリンタでも同じです。
22		アプリケーションによってジョブタイトルに改行コード、EOFコードなどが入っていることがあります。それをPrintBarrierでデフォルト値としてスペースコードに置き換えています。変換したいコードは変更可能です。	ログ収集が失敗します。
23		ネットワーク障害などによるサーバ接続できない場合、印刷ログは取得できますが、印刷実績は反映されません。(Enterprise機能)	印刷ログは取得できますが、印刷実績は反映されません。
24		ログ検索画面では画面内にあるデータしかソートしません。(Enterprise機能)	-
25	表示	プリンタとシステムのフォントの違いやプリンタとディスプレイの解像度の違いによりプレビューで表示した文字サイズが実際に印刷したものと異なる場合があります。	プレビューで表示した文字サイズが実際に印刷したものと異なる場合があります。
26		プリンタ及びディスプレイのフォント、解像度などの違いにより背景の印刷位置がプレビューで表示された位置よりずれる可能性があります。	背景の印刷位置がプレビューで表示された位置よりずれる可能性があります。
27	用紙設定	物理プリンタドライバでの用紙サイズの変更はPrintBarrier経由した印刷では無視されます。つまり、PrintBarrierでの用紙設定が反映されます。	PrintBarrierでの用紙設定が反映されます。
28		「ユーザ定義サイズ」用紙を印刷する場合、「コントロール パネル」→「プリンタ」でPrintBarrier「印刷設定」項目を選択し表示された PrintBarrier印刷設定画面の用紙サイズを「ユーザ定義」に選択しサイズを設定したうえで印刷する必要があります。	-
29	性能	PrintBarrierでサイズの大きいデータを印刷する場合、時間がかかることがあります。	印刷時間がかかります。